

日野市郷土資料館講座 たきび祭前夜祭イベント

たつみせいか
たきびの詩人 巽聖歌
お話と朗読・歌のつどい



☆お話「生誕 120 年記念 巽聖歌と与田準一」

講師 北村澄江氏（元日野市郷土資料館職員）

巽聖歌と与田準一は、共に明治 38 年に生まれ、『赤い鳥』で活躍した童謡詩人です。岩手県紫波町出身の聖歌、福岡県瀬高町（現みやま市）出身の準一は、22 歳の時に福岡県久留米で出会い、生涯の友となりました。そして、夭折した新美南吉の作品を世に出すために、2 人で尽力しました。前夜祭では、与田準一の活動を紹介しながら、巽聖歌・与田準一・新美南吉、3 人の歩んだ軌跡をたどってみたいと思います。

朗読の会「うづき」の皆さんには作品を、地元で活躍しているハピネス 39（サンキュー）」（ピアノ小菅明子）さんには歌を、ご披露いただきます。

「たきび」など、聖歌の童謡をみんなで歌いましょう！

日時：令和 7 年 12 月 5 日（金）15 時～17 時 30 分（開場 14 時 30 分）

場所：旭が丘地区センター（旭が丘中央公園内）

（JR 豊田駅北口より平山工業団地循環バス、旭が丘中央公園下車徒歩 3 分）

* お話「生誕 120 年記念 巽聖歌と与田準一（北村澄江氏）」

* 朗読 朗読の会「うづき」

* 歌 ハピネス 39

* 定員 30 名（無料）

午後 5 時より、たきび詩碑前で
キャンドルサービスを行ないます。



童謡「たきび」を作詩した巽聖歌は、戦後の 25 年を日野市旭が丘で暮らし、昭和 48 年 4 月 24 日、日野市立病院で 68 年の生涯を終えました。たきび詩碑のある旭が丘中央公園で、巽聖歌を記念して行なわれている「たきび祭」（12 月 6 日）は、今年で 18 回目を迎えます。平成 22 年 1 月からは、豊田駅発車メロディーも童謡「たきび」になりました。

お申し込みは、11 月 5 日（水）午前 9 時より、右の二次元コードまたは電話で日野市郷土資料館（042-592-0981）へ。

